

# リスクコントロール世界資産分散ファンド

## <愛称：マイスタート>

追加型投信／内外／資産複合

### 受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主に国内外の公社債、株式および不動産投資信託証券（リート）の8資産にマザーファンドを通じて実質的に分散投資を行い、信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。

当作成対象期間につきましても、これに沿った運用を行いました。ここに、運用経過等をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2018年11月13日～2019年11月11日

第2期	決算日：2019年11月11日	
第2期末 (2019年11月11日)	基準価額	10,389円
	純資産総額	63,143百万円
第2期	騰落率	5.6%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。  
(注2) △ (白三角) はマイナスを意味しています (以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書（全体版）を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書（全体版）は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書（全体版）は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### ■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

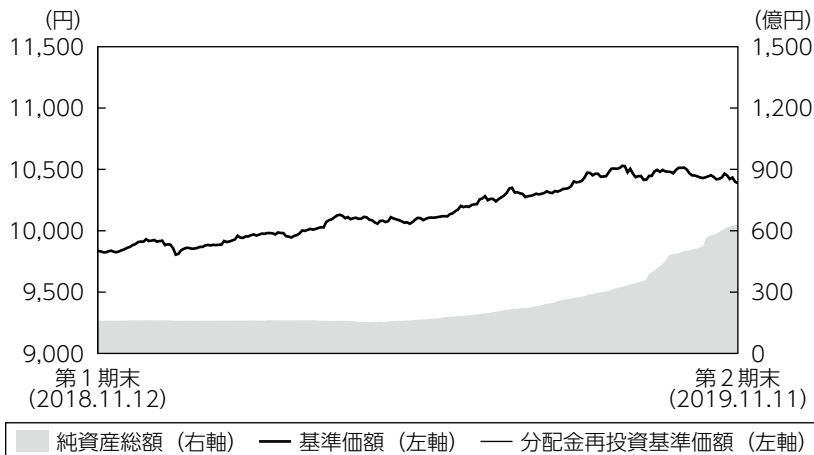
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

## 運用経過の説明

### 基準価額等の推移



- (注 1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注 2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注 3) 分配金再投資基準価額は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。
- (注 4) 当ファンドはベンチマークを定めておりません。

### 基準価額の主な変動要因

主要国の中央銀行がハト派姿勢に転じてきたことなどから、安定資産は期を通して概ね堅調に推移しました。リスク性資産は、世界経済の減速懸念や米中貿易摩擦問題の進退などにより短期的に上下したものの、緩和的な金融環境に支えられ、リスク性資産全体ではプラスに寄与しました。2019年9月以降は、景気減速懸念の後退から金利が上昇（債券価格は下落）に転じ、安定資産部分でマイナスを計上しましたが、期を通じてみると、基準価額は上昇しました。

### ◆組入ファンドの当作成期間の騰落率

組入ファンド	騰落率
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	2.8%
国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	4.5%
為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	7.3%
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	8.1%
J-REITインデックスファンド・マザーファンド	26.0%
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	9.0%
エマージング債券パッシブ・マザーファンド	11.7%
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	6.6%

## 1 万口当たりの費用明細

項目	第2期		項目の概要
	(2018年11月13日 ～2019年11月11日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	109円	1.068%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は10,161円です。
(投信会社)	( 53)	(0.518)	投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価
(販売会社)	( 53)	(0.518)	販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価
(受託会社)	( 3)	(0.032)	受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.004	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、組入有価証券等の売買の際に発生する手数料
(株式)	( 0)	(0.003)	
(先物・オプション)	( 0)	(0.000)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.001)	
(c) 有価証券取引税	1	0.008	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(株式)	( 0)	(0.004)	
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)	
(投資証券)	( 0)	(0.003)	
(d) その他費用	2	0.020	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保管費用)	( 1)	(0.014)	保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用
(監査費用)	( 0)	(0.003)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用
(その他)	( 0)	(0.003)	その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
合計	112	1.101	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

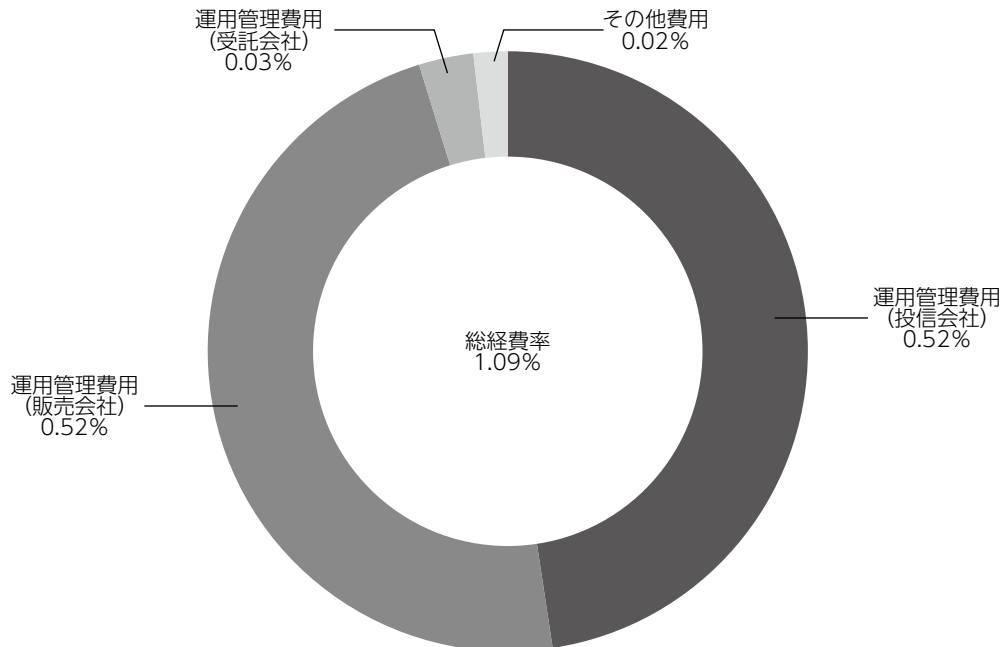
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

(参考情報)

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.09%です。



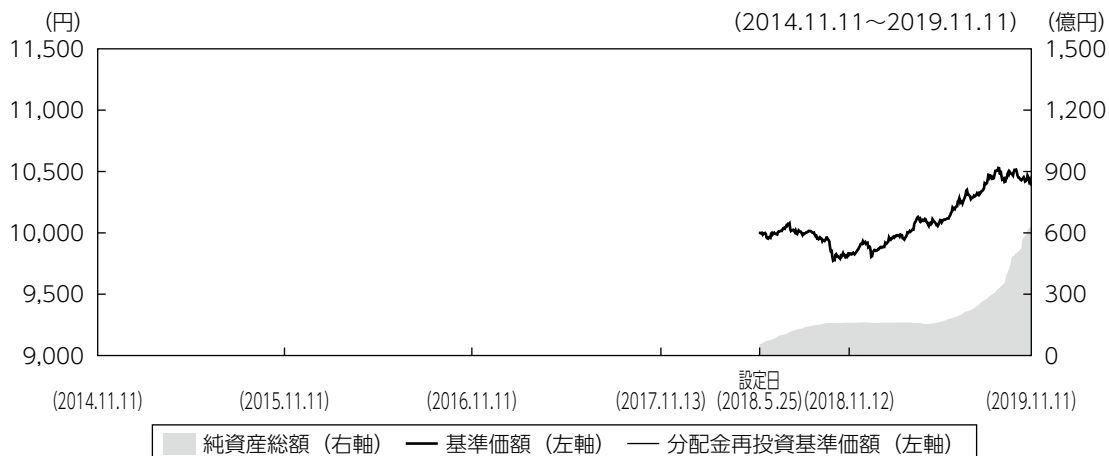
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

## 最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 基準価額は、設定日前日を10,000として計算しています。
- (注4) 分配金再投資基準価額は、設定日前日を10,000として指数化しています。

	2018年5月25日 設定日	2018年11月12日 決算日	2019年11月11日 決算日
基準価額 (分配落) (円)	10,000	9,834	10,389
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	0	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	△1.7	5.6
純資産総額 (百万円)	5,541	16,055	63,143

- (注1) 設定日の基準価額は設定当初の金額、純資産総額は設定当初の元本額を表示しております。
- (注2) 当ファンドのコンセプトに適した指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指標を定めておりません。

## 投資環境

国内債券市場は上昇（利回りは低下）しました。期初から2019年8月にかけては、米中貿易摩擦の長期化懸念や、世界景気の先行き不透明感の高まり、米欧中央銀行の金融緩和観測などを背景に、10年国債利回りは概ね低下基調で推移しました。9月から期末にかけては、米中貿易摩擦の緩和期待に伴うリスク選好の動きなどから、低下幅は縮小しました。

国内株式市場では、期初から2018年12月下旬にかけては、米国長期金利の上昇を受けて米国株式が下落したこと、世界景気の減速懸念や米中貿易摩擦の激化などを嫌気し、急落しました。その後は、2019年2月にかけて大幅下落の反動で反発した後、米中貿易問題の進捗、世界の景況感、為替動向などを材料に10月初旬までは一進一退の展開となりました。その後、期末にかけては米中関係の改善期待や企業業績の底打ち期待などを要因として上昇しました。

先進国債券市場では、米国債、欧州債の利回りは、ともに低下（価格は上昇）しました。米国では世界的な景気減速に加え、米中貿易摩擦の高まりやブレグジット（英国のEU離脱）等の不透明感があり、FRB（米連邦準備理事会）が政策金利の引き下げを実施したことなどから、米国債利回りは低下しました。欧州圏ではECB（欧州中央銀行）が追加金融緩和を決定したことなどから、欧州債の利回りは低下しました。

先進国株式市場は、上昇しました。米国株式市場は2018年末にかけて下落しましたが、年明け以降は、パウエルFRB議長が、金融引き締めを急がない姿勢を示したことなどから2019年4月下旬にかけて堅調に推移しました。その後は、米中通商協議の行方を睨み、方向感の定まらない展開となりましたが、期末にかけては米中通商協議の進展期待から上昇傾向となり、前期末比では上昇しました。欧州市場もほぼ同様の動きとなり、各国市場は前期末比で上昇しました。

国内リート市場は上昇しました。世界的にリスク性資産全般の下落基調が強まったことから、2018年の年末にかけて急落する局面もありましたが、その後は内需ディフェンシブ株の一角として株式投資家からの資金流入が続いたことや、超低金利環境の継続に対するインカムゲインを期待する投資家の買い付けなどを背景に底堅い展開が続きました。積極的な資産入替方針などによる投資主価値の向上への期待も加わり、前期末比で大幅な上昇となりました。

外国リート市場は上昇しました。米国リート市場は、底堅い業績発表や長期金利の低下などを背景に堅調に推移しました。2018年12月に、長期金利の上昇が嫌気され下落する場面もありましたが、前期末比では上昇しました。欧州リート市場は、低金利環境の長期化への期待などを受け各国の市場で概ね上昇しました。豪州リート市場についても、長期金利の低下や豪州経済への期待などから堅調に推移しました。

新興国債券市場は上昇しました。ベースとなる米国の長期金利は米中貿易問題に対する懸念などを背景に低下しました。対米国債スプレッド（利回り格差）は米中貿易問題や世界の中央銀行の金融政策を睨みながら推移しました。2019年8月にはアルゼンチン大統領選挙の予備選で現職大統領が敗北したことなどを背景に一時急拡大しましたがその後は縮小に転じ、米中の貿易交渉において第一弾の合意が報じられたことなどをを受けて期末にかけてさらに縮小しました。

新興国株式市場は上昇しました。2019年4月までは、パウエルF R B議長が利上げに慎重な姿勢を示したことや世界景気の先行き不透明感が和らいだことなどから、堅調に推移しました。5月以降は、米中通商協議を巡る思惑から方向感の乏しい展開となりましたが、期末にかけては米中通商協議の進展期待から上昇傾向となりました。

為替市場では主要通貨に対して円高となりました。期初より、世界経済の悪化懸念が強まり、急速に円高が進みました。その後、米中貿易摩擦問題の進展期待等によりやや円安基調となったものの、米中問題への懸念がくすぶり続けたこと、主要国の中央銀行がハト派姿勢に転じ海外金利が低下基調にあったこと等を背景に、2019年9月まで円高基調で推移しました。その後は、リスク回避姿勢が弱まったこと等から円安基調に転じましたが、前期末比では主要通貨に対して円高となりました。

## ■ ポートフォリオについて

### ● 当ファンド

基本配分比率をもとに、国内外の8つのマザーファンドへの分散投資を行いつつ、基準価額の下落を一定水準（下値目安値）までに抑えることをめざして運用を行いました。当期はボラティリティ（価格の変動性）が概ね低水準であったことや基準価額が下値目安値と比べて高い水準で推移したことから、合計資産比率は期を通して高位に保ちました。

### ○ 当期末の資産配分

資 産		比 率	
安定資産	国内債券	12.3%	58.0%
	為替ヘッジ先進国債券	45.7%	
リスク性資産	新興国債券	12.4%	34.2%
	国内株式	6.6%	
	先進国株式	2.5%	
	新興国株式	5.0%	
	国内リート	1.9%	
	先進国リート	5.8%	
現金等		7.7%	

※1 比率は純資産総額に対する割合です。

※2 国内債券：国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、為替ヘッジ先進国債券：為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド、新興国債券：エマージング債券パッシブ・マザーファンド、国内株式：国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド、先進国株式：外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド、新興国株式：エマージング株式パッシブ・マザーファンド、国内リート：J-REITインデックスファンド・マザーファンド、先進国リート：外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

※3 現金等とは、短期国債およびコール・ローンなどの短期金融資産等をいい、当該資産へは、「D I A Mマナーマザーファンド」を通じてまたは直接投資を行います。

●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるNOMURA-BPI総合の銘柄入れ替えや、資金の流入・流出に応じて適宜債券の売買を実施し、リスク特性をベンチマークに極力一致させたポートフォリオを構築しました。

●国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド

ベンチマークである東証株価指数（TOPIX）（配当込み）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本、円ベース、為替ヘッジあり）とリスク特性を極力一致させたポートフォリオを構築しました。

●外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるMSCIコクサイ・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●J-REITインデックスファンド・マザーファンド

リートの実質組入比率を高め、ベンチマークである東証REIT指数（配当込み）との連動性を保つように努めました。また、ベンチマークの構成銘柄の変更に応じたポートフォリオのリバランスを行い、資金の流入・流出に応じたきめ細かなポートフォリオ調整を実施し、ベンチマークと同等のリスク特性を維持しました。

●外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

ベンチマークであるS&P先進国REITインデックス（除く日本、円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。

●エマージング債券パッシブ・マザーファンド

ベンチマークであるJPモルガン・エマージング・マーケット・ボンド・インデックス・プラス（円換算ベース・為替ヘッジなし）とポートフォリオのリスク特性を概ね一致させたポートフォリオを構築しました。なお、運用の基本方針で定められた格付による債券組入制限により、相対的に信用力の低い国の債券には投資しませんでした。

●エマージング株式パッシブ・マザーファンド

ベンチマークであるMSCIエマージング・マーケット・インデックス（円換算ベース、配当込み、為替ヘッジなし）のリスク特性に概ね一致したポートフォリオを構築しました。



## 分配金

当期の収益分配金につきましてはファンド特性を勘案し、無分配とさせていただきます。なお、収益分配金に充てなかった利益は信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

### 分配原資の内訳（1万口当たり）

項目	当期
	2018年11月13日 ～2019年11月11日
当期分配金（税引前）	－円
対基準価額比率	－%
当期の収益	－円
当期の収益以外	－円
翌期繰越分配対象額	388円

（注1）「当期の収益」および「当期の収益以外」は、小数点以下切捨てで算出しているためこれらを合計した額と「当期分配金（税引前）」の額が一致しない場合があります。

（注2）当期分配金の「対基準価額比率」は「当期分配金（税引前）」の期末基準価額（分配金込み）に対する比率で、ファンドの収益率とは異なります。また、小数点第3位を四捨五入しています。

（注3）「当期の収益」は「経費控除後の配当等収益」および「経費控除後・繰越欠損補填後の売買益（含、評価益）」から分配に充当した金額です。また、「当期の収益以外」は「分配準備積立金」および「収益調整金」から分配に充当した金額です。

## 今後の運用方針

### ●当ファンド

引き続き、基本配分比率をもとに、国内外の8資産に分散投資を行い、信託財産の成長を図ります。基準価額の水準や市場環境等に応じて投資対象資産の合計資産比率を機動的に変更することでファンドのリスクをコントロールし、基準価額の下落を一定水準までに抑えることをめざした運用を行います。

### ●国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ポートフォリオのリスク特性をベンチマークに極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

### ●国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果を目標としたパッシブ運用を行います。

### ●為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を極力一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

### ●外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークとポートフォリオのリスク特性を概ね一致させることで、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。

● J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド

引き続き、リートの子組比率を高め、ベンチマークに連動する投資成果をめざしたパッシブ運用を行います。ベンチマークの構成銘柄の変更に応じたポートフォリオのリバランスを行い、資金の流入・流出に応じたきめ細かなポートフォリオ調整を実施し、ベンチマークと同等のリスク特性を維持するよう努めます。

● 外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド

引き続き、ベンチマークに連動する投資成果をめざしてパッシブ運用を行います。

● エマージング債券パッシブ・マザーファンド

引き続き、ベンチマークの動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。

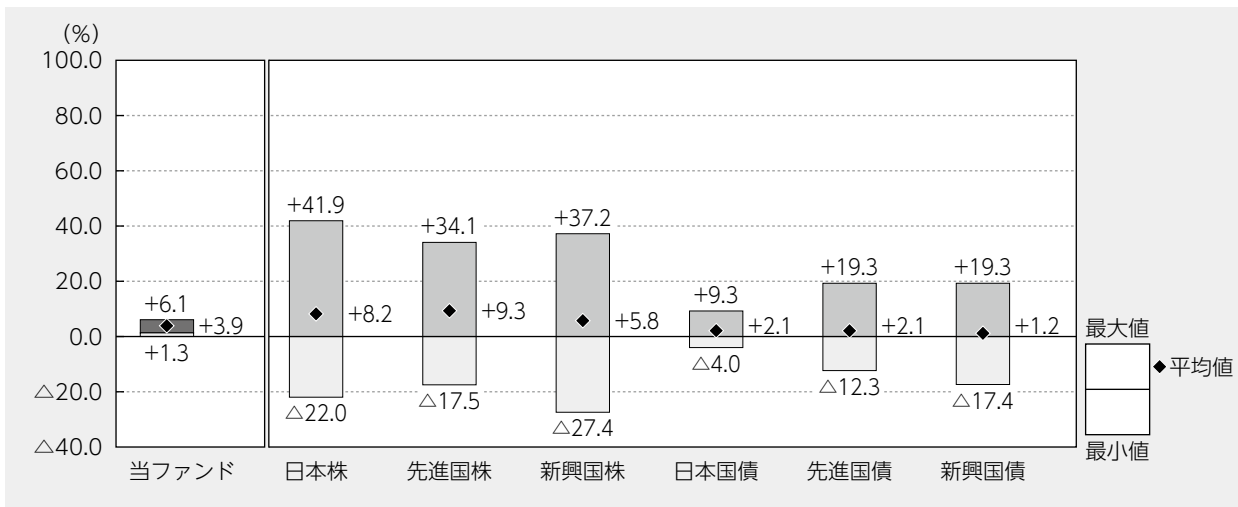
● エマージング株式パッシブ・マザーファンド

引き続き、ベンチマークの動きを概ね捉える投資成果をめざして運用を行います。

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2018年5月25日から2028年5月11日です。	
運用方針	信託財産の成長を図ることを目的として運用を行います。	
主要投資対象	リスクコントロール世界資産分散ファンド	以下のマザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、有価証券指数等先物取引等、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券（ETF）、「D I AMマネーマザーファンド」受益証券や短期金融資産等に投資する場合もあります。
	国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	わが国の公社債を主要投資対象とします。
	国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	東京証券取引所第1部に上場されている株式を主要投資対象とします。
	為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
	外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	海外の株式を主要投資対象とします。
	J-REITインデックスファンド・マザーファンド	東京証券取引所に上場し、東証REIT指数に採用されている（または採用予定の）不動産投資信託証券を主要投資対象とします。
	外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	日本を除く世界各国の不動産投資信託証券*を主要投資対象とします。 ※海外の証券取引所に上場（これに準ずるものを含みます。）されている不動産投資信託証券とします。
	エマージング債券パッシブ・マザーファンド	新興国の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	エマージング株式パッシブ・マザーファンド	海外の証券取引所に上場している株式*を主要投資対象とします。 ※DR（預託証券）もしくは株式と同等の投資効果が得られる権利を表示する証券および証書等を含みます。
	<p>主に国内外の公社債、株式および不動産投資信託証券（リート）の8資産にマザーファンドを通じて実質的に投資します。*(**) (**)</p> <p>基本配分比率は、統計的手法を用い、資産価格に影響を与える「変動要因」の偏りをなくすように資産配分比率および通貨配分比率を決定します。</p> <p>基本資産配分によるポートフォリオの変動リスクを年率2%程度 (***) に抑えた安定的な運用をめざします。実質組入外貨建資産は投資環境に応じて弾力的に対円で為替ヘッジを行います。</p> <p>基準価額の下限を一定水準（下値目安値 (***)）までに抑えることをめざします。</p> <p>(*) 一部のマザーファンドへの投資配分比率がゼロになる場合があります。</p> <p>(**) 有価証券指数等先物等、指数に連動する投資成果をめざす上場している投資信託証券（ETF）へ直接投資する場合もあります。</p> <p>(***) 数値は目標値であり、常にリスク水準が一定であること、あるいは目標値が達成されることのみを約束するものではありません。また、数値は長期的なリスク水準の目標を表すものであり、年率2%程度の収益を目標とすることを意味するものではありません。数値が達成されるかどうかを問わず、実際の運用成績がマイナスとなる可能性があります。</p> <p>(****) 基準価額が下値目安値を下回らないことを委託会社が保証するものではありません（相場急落の場合などには、基準価額が下値目安値を下回る場合があります。）。</p>	
分配方針	<p>決算日（原則として毎年11月11日。休業日の場合は翌営業日。）に、繰越分を含めた経費控除後の配当等収益（マザーファンドの信託財産に属する配当等収益のうち、信託財産に属するとみなした額（以下「みなし配当等収益」といいます。）を含みます。）および売買益（評価益を含み、みなし配当等収益を控除して得た額）等の中から、基準価額水準、市況動向等を勘案して、分配金額を決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わない場合があります。</p>	

## 代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンド : 2019年5月~2019年10月

代表的な資産クラス : 2014年11月~2019年10月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

### \*各資産クラスの指数

日本株……東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

※各指数については後掲の<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>をご参照ください。

## 当ファンドのデータ

### 当ファンドの組入資産の内容（2019年11月11日現在）

#### ◆組入ファンド等

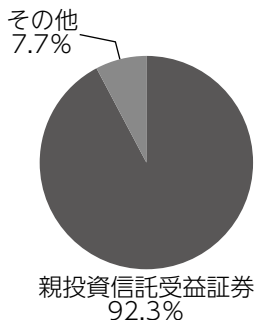
（組入ファンド数：8ファンド）

	当期末
	2019年11月11日
為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	45.7%
エマージング債券パッシブ・マザーファンド	12.4
国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド	12.3
国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド	6.6
外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド	5.8
エマージング株式パッシブ・マザーファンド	5.0
外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド	2.5
J-R E I Tインデックスファンド・マザーファンド	1.9
その他	7.7

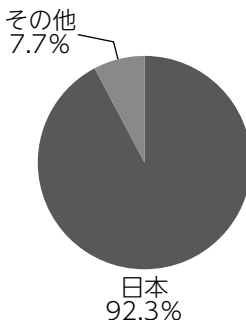
（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他を含めて表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

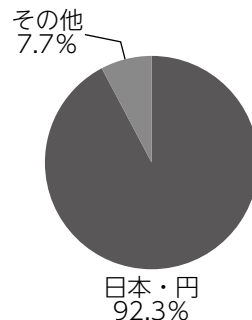
#### ◆資産別配分



#### ◆国別配分



#### ◆通貨別配分



（注1）比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

（注2）現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

（注3）当ファンドの実質的な外貨建資産については、当ファンドにおいて対円での為替ヘッジを行っています。当期末における為替ヘッジ比率は17.1%（純資産総額に対する割合）です。

### 純資産等

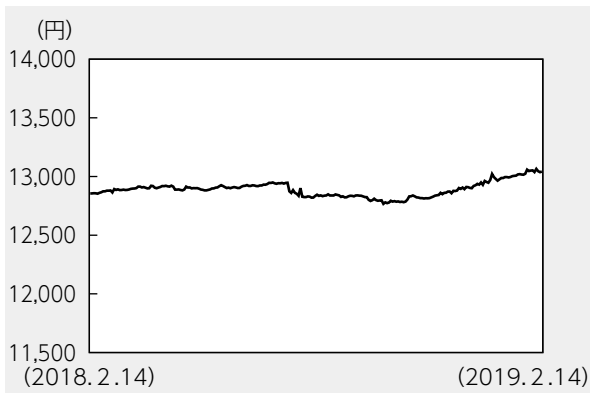
項目	当期末
	2019年11月11日
純資産総額	63,143,086,472円
受益権総口数	60,780,949,246口
1万口当たり基準価額	10,389円

（注）当期中における追加設定元本額は48,308,726,995円、同解約元本額は3,853,963,676円です。

## 組入ファンドの概要

【国内債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】（計算期間 2018年2月15日～2019年2月14日）

### ◆基準価額の推移



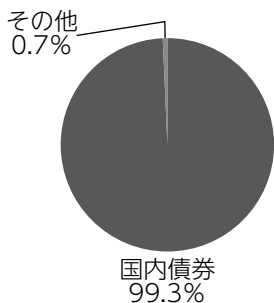
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
1 2 5回 利付国庫債券 (5年)	日本・円	1.0%
3 5 0回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
3 4 4回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	1.0
3 4 5回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 4 2回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 4 1回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 3 2回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 4 3回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 4 0回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
3 3 9回 利付国庫債券 (10年)	日本・円	0.9
組入銘柄数	422銘柄	

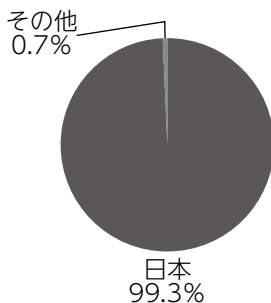
### ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (その他)	0円 (0)	0.000% (0.000)
合計	0	0.000

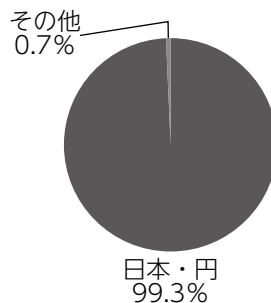
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（12,890円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

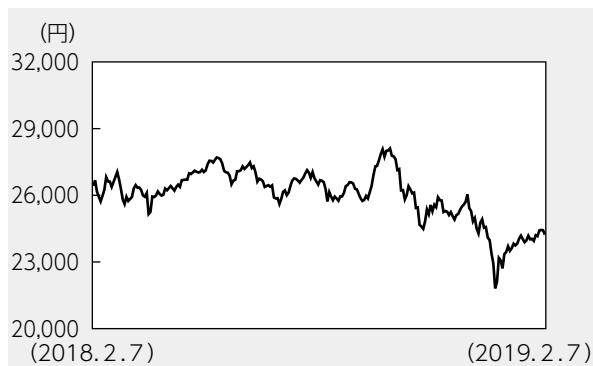
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【国内株式パッシブ・ファンド（最適化法）・マザーファンド】（計算期間 2018年2月8日～2019年2月7日）

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄（現物）

銘柄名	通貨	比率
トヨタ自動車	日本・円	3.2%
ソフトバンクグループ	日本・円	1.8
三菱UFJフィナンシャル・グループ	日本・円	1.7
ソニー	日本・円	1.4
日本電信電話	日本・円	1.4
キーエンス	日本・円	1.3
武田薬品工業	日本・円	1.2
三井住友フィナンシャルグループ	日本・円	1.2
本田技研工業	日本・円	1.1
みずほフィナンシャルグループ	日本・円	1.0
組入銘柄数	2,113銘柄	

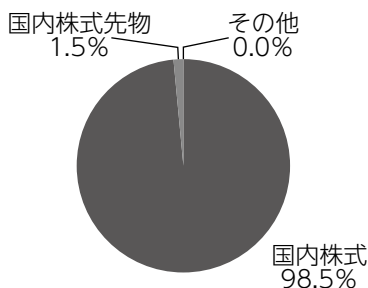
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション)	0円 (0) (0)	0.001% (0.000) (0.001)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.001

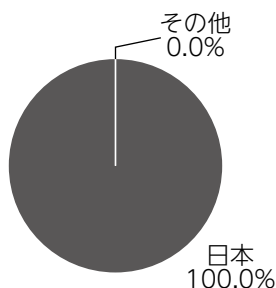
◆組入上位銘柄（先物）

銘柄名	売買	比率
TOPIX	買建	1.5%
組入銘柄数	1銘柄	

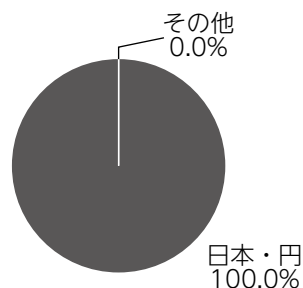
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（25,984円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

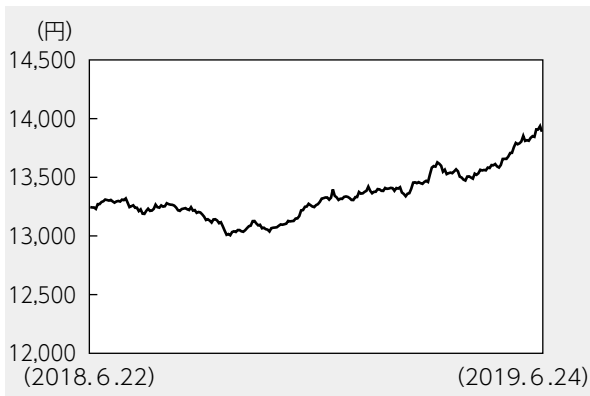
(注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

【為替フルヘッジ外国債券パッシブ・ファンド・マザーファンド】（計算期間 2018年6月23日～2019年6月24日）

◆基準価額の推移



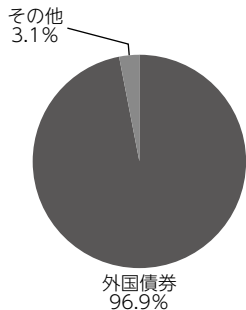
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 1.75 05/15/23	アメリカ・ドル	0.8%
US T N/B 1.5 03/31/23	アメリカ・ドル	0.7
US T N/B 2.25 11/15/25	アメリカ・ドル	0.6
US T N/B 2.75 08/15/21	アメリカ・ドル	0.6
US T N/B 1.375 08/31/20	アメリカ・ドル	0.6
US T N/B 2.625 07/31/20	アメリカ・ドル	0.6
US T N/B 3.125 11/15/28	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 2.25 04/15/22	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 1.5 08/15/20	アメリカ・ドル	0.5
US T N/B 2.625 02/15/29	アメリカ・ドル	0.5
組入銘柄数	693銘柄	

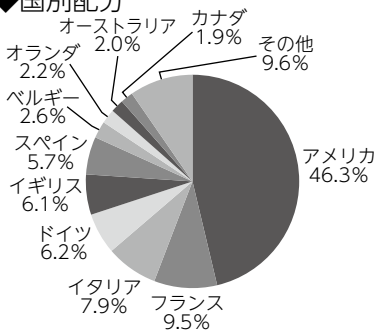
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	1円 (1) (0)	0.011% (0.011) (0.000)
合計	1	0.011

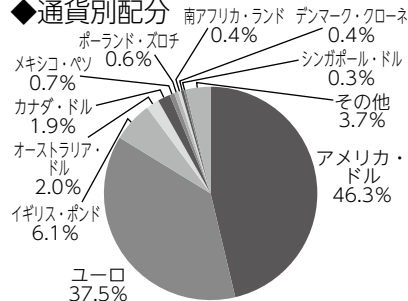
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額（13,344円）で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ（1万口当たりの費用明細）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分・通貨別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注6) 外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行っています。

(注7) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注8) 国別配分は、発行国（地域）を表示しています。

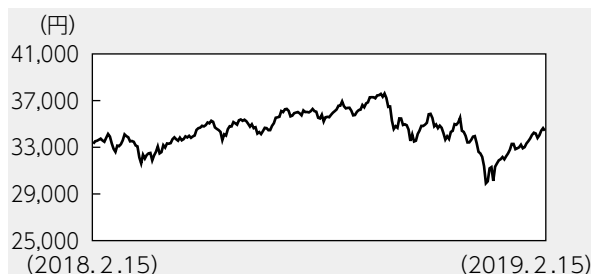
(注9) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。



## 【外国株式パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2018年2月16日～2019年2月15日)

### ◆基準価額の推移



### ◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
APPLE INC	アメリカ・ドル	2.3%
MICROSOFT CORP	アメリカ・ドル	2.1
AMAZON.COM INC	アメリカ・ドル	1.9
FACEBOOK INC	アメリカ・ドル	1.1
JOHNSON & JOHNSON	アメリカ・ドル	1.0
ALPHABET INC-CL C	アメリカ・ドル	1.0
JPMORGAN CHASE & CO	アメリカ・ドル	0.9
ALPHABET INC-CL A	アメリカ・ドル	0.9
EXXON MOBIL CORP	アメリカ・ドル	0.9
BANK OF AMERICA CORP	アメリカ・ドル	0.7
組入銘柄数	1,309銘柄	

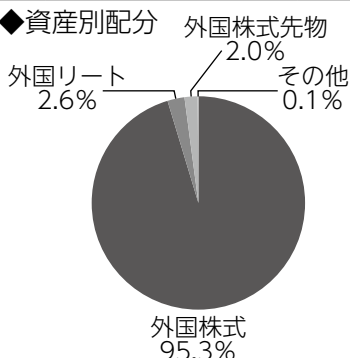
### ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料	1円	0.003%
(株式)	( 1)	(0.002)
(先物・オプション)	( 1)	(0.002)
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)
(投資証券)	( 0)	(0.000)
(b) 有価証券取引税	4	0.012
(株式)	( 4)	(0.012)
(投資信託受益証券)	( 0)	(0.000)
(投資証券)	( 0)	(0.000)
(c) その他費用	6	0.017
(その他)	( 6)	(0.017)
合計	11	0.033

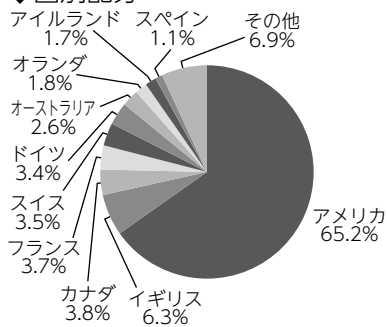
### ◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
S&P500 EMINI FUT	買建	1.4%
DJ EURO STOXX 50	買建	0.3
FTSE 100 INDEX FUTURE	買建	0.1
S&P/TSE 60 IX FUT	買建	0.1
SPI 200 FUTURES	買建	0.1
組入銘柄数	5銘柄	

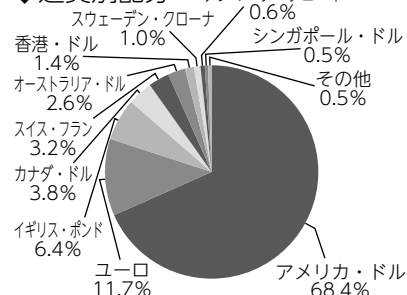
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



### ◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(34,450円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分は発行国(地域)を表示しています。

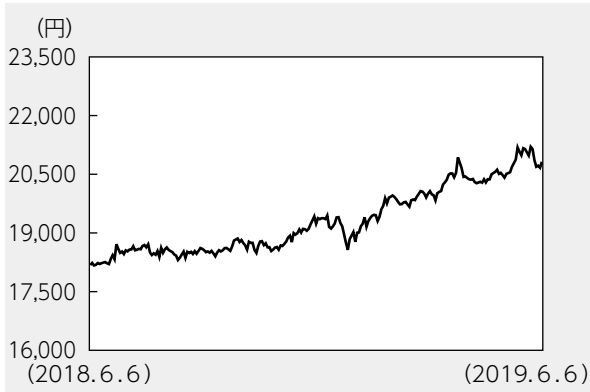
(注6) 国別配分・通貨別配分については、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

[J-REITインデックスファンド・マザーファンド] (計算期間 2018年6月7日～2019年6月6日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
日本ビルファンド投資法人	日本・円	7.5%
ジャパンリアルエステイト投資法人	日本・円	6.7
野村不動産マスターファンド投資法人	日本・円	5.3
日本リテールファンド投資法人	日本・円	4.2
ユナイテッド・アーバン投資法人	日本・円	4.0
オリックス不動産投資法人	日本・円	4.0
大和ハウスリート投資法人	日本・円	3.5
日本プロロジスリート投資法人	日本・円	3.2
アドバンス・レジデンス投資法人	日本・円	3.1
日本プライムリアルティ投資法人	日本・円	3.0
組入銘柄数	63銘柄	

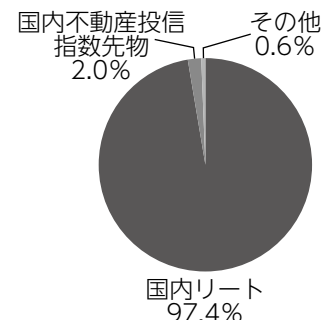
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (先物・オプション) (投資証券)	0円 (0) (0)	0.002% (0.001) (0.002)
(b) その他費用 (その他)	0 (0)	0.000 (0.000)
合計	0	0.002

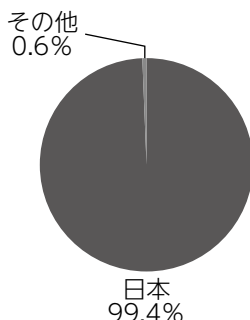
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
東証REIT	買建	2.0%
組入銘柄数	1銘柄	

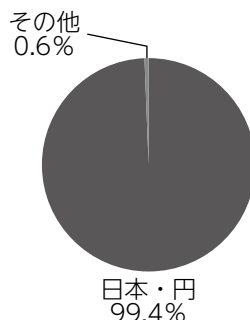
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(19,315円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。

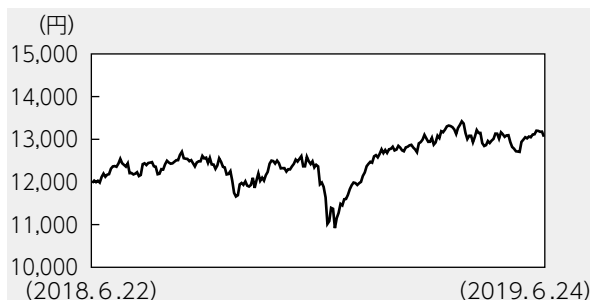
(注6) その他は、純資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

## 【外国リート・パッシブ・ファンド・マザーファンド】

(計算期間 2018年6月23日～2019年6月24日)

### ◆基準価額の推移



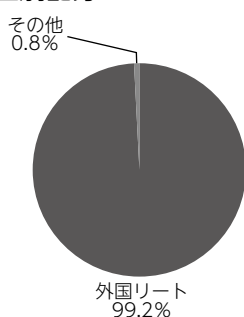
### ◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
PROLOGIS INC	アメリカ・ドル	4.1%
SIMON PROPERTY GROUP INC	アメリカ・ドル	4.0
PUBLIC STORAGE	アメリカ・ドル	2.9
WELLTOWER INC	アメリカ・ドル	2.6
AVALONBAY COMMUNITIES INC	アメリカ・ドル	2.3
EQUITY RESIDENTIAL	アメリカ・ドル	2.3
LINK REIT	香港・ドル	2.1
DIGITAL REALTY TRUST INC	アメリカ・ドル	2.1
VENTAS INC	アメリカ・ドル	2.0
REALTY INCOME CORP	アメリカ・ドル	1.8
組入銘柄数	303銘柄	

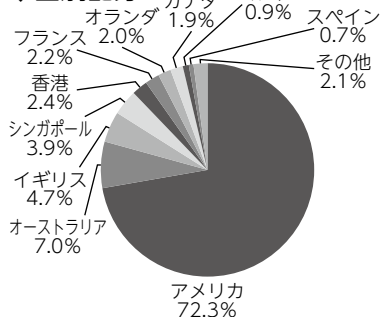
### ◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (投資信託受益証券) (投資証券)	3円 (0) (1) (3)	0.025% (0.000) (0.004) (0.020)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資信託受益証券) (投資証券)	7 (0) (0) (7)	0.059 (0.000) (0.003) (0.056)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	13 (7) (7)	0.108 (0.055) (0.052)
合計	24	0.191

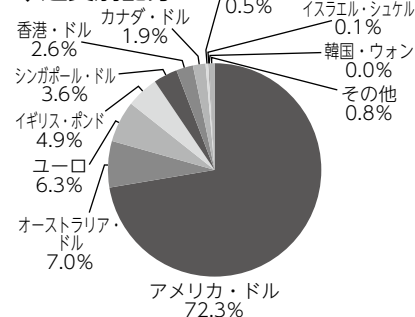
### ◆資産別配分



### ◆国別配分



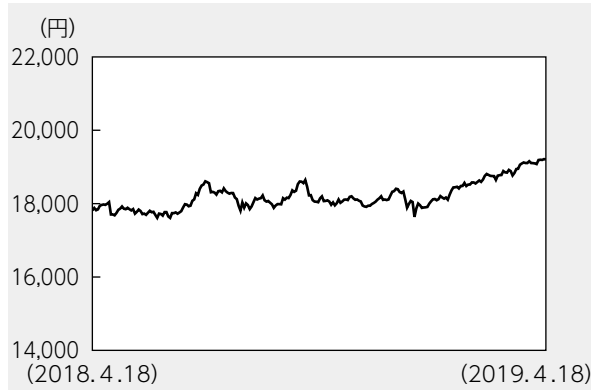
### ◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。
- (注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(12,500円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。
- (注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。
- (注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。
- (注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。
- (注6) 国別配分については上位11位以下をその他に含めて集計しています。
- (注7) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。
- (注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【エマージング債券パッシブ・マザーファンド】 (計算期間 2018年4月19日～2019年4月18日)

◆基準価額の推移



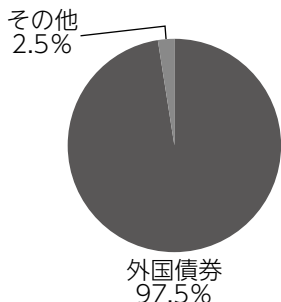
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
RUSSIAN FEDERATION 5.25 06/23/47	アメリカ・ドル	2.6%
PERU 5.625 11/18/50	アメリカ・ドル	1.9
COLOMBIA 5.0 06/15/45	アメリカ・ドル	1.8
HUNGARY 6.375 03/29/21	アメリカ・ドル	1.7
PERU 7.35 07/21/25	アメリカ・ドル	1.6
UNITED MEXICAN STATES 4.75 03/08/44	アメリカ・ドル	1.6
ROMANIA 6.75 02/07/22	アメリカ・ドル	1.5
BRAZIL 4.875 01/22/21	アメリカ・ドル	1.4
RUSSIAN FEDERATION 03/31/30	アメリカ・ドル	1.4
UNITED MEXICAN STATES 6.05 01/11/40	アメリカ・ドル	1.4
組入銘柄数	111銘柄	

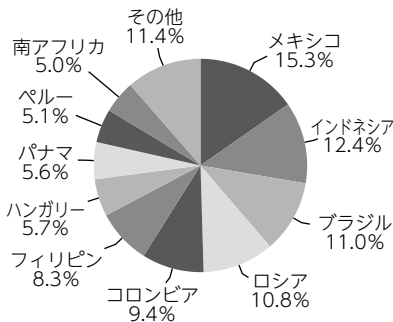
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用	2円	0.012%
(保管費用)	(2)	(0.012)
(その他)	(0)	(0.000)
合計	2	0.012

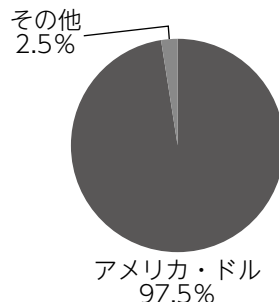
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものであります。

(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(18,213円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄・資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

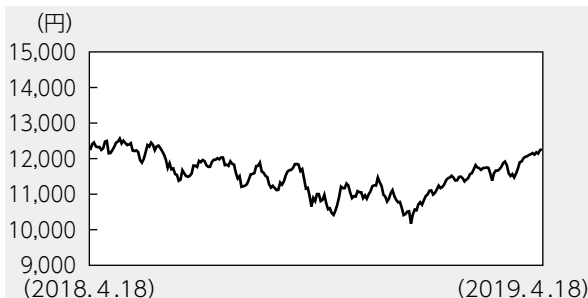
(注5) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注6) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。また、上位11位以下をその他に含めて集計しています。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

【エマージング株式パッシブ・マザーファンド】 (計算期間 2018年4月19日～2019年4月18日)

◆基準価額の推移



◆組入上位10銘柄 (現物)

銘柄名	通貨	比率
TENCENT HOLDINGS LTD	香港・ドル	5.0%
ALIBABA GROUP HOLDING LTD-ADR	アメリカ・ドル	4.2
TAIWAN SEMICONDUCTOR	台湾・ドル	3.6
SAMSUNG ELECTRONICS CO LTD	韓国・ウォン	3.4
NASPERS LTD	南アフリカ・ランド	2.0
CHINA CONSTRUCTION BANK	香港・ドル	1.5
PING AN INSURANCE GROUP CO-H	香港・ドル	1.1
CHINA MOBILE LIMITED	香港・ドル	1.0
RELIANCE INDUSTRIES LTD	インド・ルピー	1.0
IND & COMM BK OF CHINA - H	香港・ドル	0.9
組入銘柄数	970銘柄	

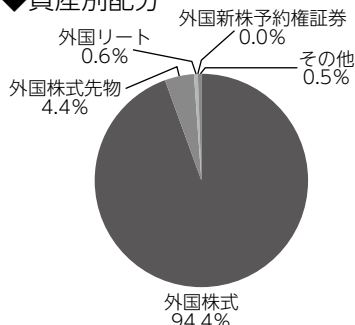
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株式) (先物・オプション) (投資信託受益証券) (投資証券)	11円 (9) (2) (0) (0)	0.091% (0.077) (0.013) (0.001) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株式) (投資証券)	11 (11) (0)	0.094 (0.094) (0.000)
(c) その他費用 (保管費用) (その他)	16 (14) (2)	0.143 (0.125) (0.017)
合計	38	0.327

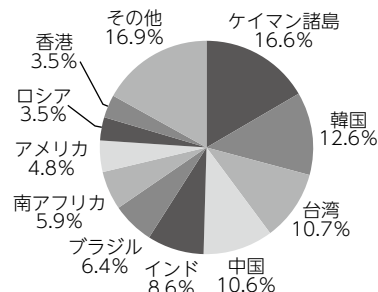
◆組入上位銘柄 (先物)

銘柄名	売買	比率
MINI MSCI EMG MKT	買建	4.4%
組入銘柄数	1銘柄	

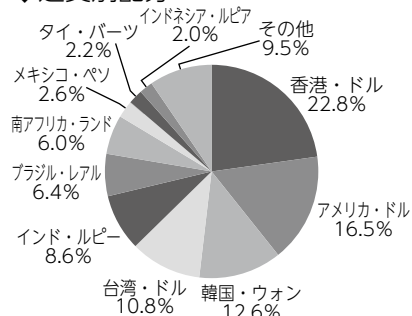
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



- (注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のもので、  
(注2) 1万口当たりの費用明細の金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額(11,540円)で除して100を乗じたものです。なお、費用項目の概要及び注記については2ページ(1万口当たりの費用明細)をご参照ください。  
(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。  
(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。  
(注5) 国別配分は、発行国(地域)を表示しています。  
(注6) 国別配分・通貨別配分については上位11位以下をその他に含めて集計しています。  
(注7) その他は、総資産総額を100%として、現物と先物の比率を差し引いたものです。また、国別配分、通貨別配分については、現物と先物の比率を合計して表示しています。  
(注8) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されています。

### <代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、東京証券取引所第一部に上場されているすべての株式の時価総額を指数化したものです。同指数は、株式会社東京証券取引所（㈱東京証券取引所）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利は、㈱東京証券取引所が有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村證券株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。なお、野村證券株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

(このページは白紙です)

